

研究館年報發刊の辭

校長 田 尻 常 雄

我校研究館は橋本喜造氏の寄附により一昨大正八年十一月建築竣成し其後着々其内容を整ひ調査研究及び講習の三事業を實施し茲に其年報第一卷を發刊するに至れり顧るに我長崎は近世に於ける我國泰西文明輸入の門戸にして同時に徳川時代より維新前後に於ける帝國學問の大中心地たりしは炳乎たる事實なり維新以後天下の形勢一變して學問上に於ける長崎の地位は多く天下の注目を惹くに足らざるの觀を呈するに至りしもやがて我校及び長崎醫學專門學校設立せられ漸次學界に於ける地位を恢

復しつゝあり吾輩は我校研究館が將來如何なる程度迄業績をあげ學界に貢獻し得るや豫め之を大言壯語するが如き稚愚を避くべし只だ勤勉精究研鑽飽くなく教へて倦む事を知らざる我校教授諸君と共に徐々且慎重に歩武整々旗幟堂々學問の山野を探檢し教育の事業を達成し商業の進歩を指導裨益し更に進んで帝國文化の向上に盡し人類の康寧を致さんが爲め誓て奮勵努力せん事を期するのみ茲に我校研究館が年報第一卷を發行して世に見へんとするに當りて一言所懷を陳して其の前途を祝し吾人の覺悟を宣明す云爾

大正十年四月二十日印刷
大正十年四月廿五日發行

(禁轉載)

長崎高等商業學校

編輯者兼
發行者

田 崎 仁 義

長崎市片淵郷七三九

京都市北小路通新町西入

印刷人

須 磨 勘 兵 衛

京都市新町通七條上ル

印刷所

内外出版株式會社印刷部

發行所

長崎高等商業學校研究館

京都市下京區新町通七條上ル

發賣所

内外出版株式會社